

## 29年11月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 11月1日～ 29年11月10日

## 2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
11月分の回答企業数は13社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## ア. 国産材

## (1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目   |      | 29/11月 | 12月    | 30/1月  |
|------|------|--------|--------|--------|
| 入荷動向 | スギ   | △ 6.3  | 0.0    | △ 6.3  |
|      | ヒノキ  | △ 50.0 | △ 33.3 | △ 8.3  |
|      | カラマツ | △ 50.0 | 0.0    | 50.0   |
|      | トドマツ | △ 50.0 | 0.0    | 50.0   |
| 消費動向 | スギ   | 25.0   | 25.0   | 12.5   |
|      | ヒノキ  | 16.7   | 0.0    | △ 16.7 |
|      | カラマツ | 50.0   | 0.0    | △ 50.0 |
|      | トドマツ | 0.0    | △ 50.0 | 0.0    |
| 在庫動向 | スギ   | 0.0    | △ 9.4  | 3.1    |
|      | ヒノキ  | △ 33.3 | △ 33.3 | △ 16.7 |
|      | カラマツ | △ 50.0 | △ 50.0 | 0.0    |
|      | トドマツ | △ 50.0 | 0.0    | 50.0   |

・製材用原木の入荷動向は、スギは11月の減少から12月は横ばい、1月は再び減少に。ヒノキは3カ月連続減少。カラマツ、トドマツは11月の減少から12月は横ばい、1月は増加に。

・消費動向は、スギは3カ月連続増加。ヒノキ、カラマツは11月の増加から12月は横ばい、1月は減少に。トドマツは11月の横ばいから12月は減少、1月は再び横ばいに。

・在庫動向は、スギは11月の横ばいから12月は減少、1月は増加に。ヒノキは3カ月連続減少。カラマツは11月、12月の減少から1月は横ばいに。トドマツは11月の減少から12月は横ばい、1月は増加に。

## (2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

| 品目   | 29/11月 | 12月  | 30/1月 |
|------|--------|------|-------|
| スギ   | 28.1   | 12.5 | 6.3   |
| ヒノキ  | 50.0   | 40.0 | 10.0  |
| カラマツ | 0.0    | 0.0  | 0.0   |
| トドマツ | 0.0    | 0.0  | 0.0   |

・スギ製材用原木の価格動向は保合。

・ヒノキは原木不足からやや強含み。

・カラマツ、トドマツとも保合。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・スギ、ヒノキ丸太の入荷量に目立った変化はない。前月にヒノキのまとまった注文があり当月も横ばいだが、その後ヒノキの消費は減る。連日の台風の影響で出材が滞っているが、徐々に回復していくと思う。したがって、極端に仕入は増やさず様子を見る(中部)。
- ・10月の台風等の影響か出材が少ない状態が続いている。需要堅調につき柱、土台等を中心に入荷しただけ消費する状況(中国)。
- ・天候の影響で出材少ない。12～1月の入荷は例年並みと予想。消費は変わらず。在庫は増やしたいが、増えないと予想(中国)。
- ・スギ丸太の入荷は横ばいだが、ヒノキ丸太の入荷が少ない。消費は入荷に準ずる(中国)。
- ・順調な出材なのではないか。全体的に動きが活発なため、それなりに忙しいのではないか(九州)。
- ・天候良好につきヒノキ横ばい入荷。11月より通常の消費(九州)。

## (原木価格)

- ・カラマツ、トドマツ丸太の小径材のみ上昇機運有り(北海道)。
- ・スギは1年を通して目立った価格変動はない。ヒノキは出材量減の影響もあり、当面、価格が上昇した状態だと思う(中部)。
- ・ヒノキ柱、土台用丸太を中心に値上り気味。スギについては柱取りを除いて横ばい(中国)。
- ・スギ丸太は横ばい、ヒノキ丸太は無いもの高(中国)。
- ・スギはどの径級も不足感あり、しばらくは価格がやや上昇するのではないか(九州)。
- ・ヒノキの価格は、12月までは横ばいしないし少々上昇気味(九州)。

## 29年11月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## (3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目   |      | 29/11月 | 12月    | 30/1月  |
|------|------|--------|--------|--------|
| 生産動向 | スギ   | 18.8   | 18.8   | 12.5   |
|      | ヒノキ  | 8.3    | 8.3    | △ 8.3  |
|      | カラマツ | 50.0   | 0.0    | △ 50.0 |
|      | トドマツ | 0.0    | △ 50.0 | △ 50.0 |
| 出荷動向 | スギ   | 25.0   | 18.8   | △ 6.3  |
|      | ヒノキ  | 25.0   | 8.3    | △ 25.0 |
|      | カラマツ | 50.0   | 0.0    | △ 50.0 |
|      | トドマツ | 0.0    | △ 50.0 | △ 50.0 |
| 在庫動向 | スギ   | △ 18.8 | △ 25.0 | △ 6.3  |
|      | ヒノキ  | △ 25.0 | △ 33.3 | △ 8.3  |
|      | カラマツ | △ 50.0 | 0.0    | 0.0    |
|      | トドマツ | △ 50.0 | △ 50.0 | 0.0    |

・スギ製材品の生産動向は3カ月連続増加。ヒノキは11月、12月の増加から1月は減少に。カラマツは11月の増加から12月は横ばい、1月は減少に。トドマツは11月の横ばいから12月、1月は減少に。

・出荷動向はスギ、ヒノキとも11月、12月の増加から1月は減少に。カラマツは11月の増加から12月は横ばい、1月は減少に。トドマツは11月の横ばいから12月、1月は減少に。

・在庫動向はスギ、ヒノキとも3か月連続減少。カラマツは11月の減少から12月、1月は横ばいに。トドマツは11月、12月の減少から1月は横ばいに。

## (4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

| 品目            |             | 29/11月      | 12月  | 30/1月 |
|---------------|-------------|-------------|------|-------|
| スギ            | 柱角 KD10.5×3 | 25.0        | 12.5 | 0.0   |
|               | 柱角 KD12×3   | 18.8        | 0.0  | 0.0   |
|               | 通し柱 12×6    | 30.0        | 20.0 | 0.0   |
|               | 桁角          | 0.0         | 0.0  | 0.0   |
|               | 母屋角         | 14.3        | 14.3 | 0.0   |
|               | タルキ         | 0.0         | 0.0  | 0.0   |
|               | 間柱          | 18.8        | 12.5 | △ 6.3 |
|               | ヌキ          | 0.0         | 0.0  | 0.0   |
|               | 平割          | 0.0         | 0.0  | 0.0   |
|               | ラミナ         | 0.0         | 0.0  | 0.0   |
|               | ヒノキ         | 柱角 KD10.5×3 | 30.0 | 20.0  |
| 柱角 KD12×3     |             | 25.0        | 0.0  | 0.0   |
| 土台角 10.5×4    |             | 41.7        | 16.7 | 0.0   |
| 土台角 12×4      |             | 25.0        | 8.3  | 0.0   |
| 通し柱 12×6      |             | 25.0        | 12.5 | 0.0   |
| ラミナ           |             | 12.5        | 12.5 | 0.0   |
| カラマツ土台角10.5×4 | —           | —           | —    |       |
| 〃 梱包仕組み板      | 0.0         | 0.0         | 0.0  |       |
| 〃 ラミナ         | 0.0         | 0.0         | 0.0  |       |
| トドマツサンギ       | —           | —           | —    |       |

・スギ製材品の出荷価格動向は、柱角、母屋角はやや強含み。その他の品目は保合。

・ヒノキは全ての品目でやや強含み。

・カラマツは梱包仕組み板、ラミナとも保合。

## モニターからのコメント

## (製材品荷動き)

- ・稼働日並みの生産で、注文はそれなりにある。年末に向け出荷は固まっている。年明けの予定も少しずつ入っている。少し在庫が増えており、年末に向けて調整していく（中部）。
- ・柱、土台等を中心に入荷した分だけ生産する状況。荷動きは順調（中国）。
- ・生産量は変えない。11～12月の出荷は横ばいと予想。1月は少し変えると予想。在庫は増減させない（中国）。
- ・特に九州エリアでは、スギKD材生産の活発感がまだ続きそうだ（九州）。
- ・残業は12月まで。ヒノキ製材品の出荷は12月まで順調（九州）。

## (製材品出荷価格動向)

- ・スギ、ヒノキとも相場の変動はあまりなし。総じては上げ基調の展開（中部）。
- ・出荷価格は需給バランスによる（中国）。
- ・ヒノキ製材品の価格は、11～12月は全ての品目でやや上昇すると予想。1月は横ばい（中国）。
- ・原木の入荷動向によるが、スギ製材品の生産は横ばい、ヒノキはやや減少。ヒノキ製品の注文は多いが、丸太が無いので製品出荷が遅れている。ヒノキ製品の在庫は少ない（中国）。
- ・スギは全ての品目でおおむね横ばいだが、失速気味になってきている。ヒノキ10.5角中心に単価が上昇した。しかし大幅上昇ではなく小幅の値戻し程度（中国）。
- ・ヒノキラミナ価格は横ばい。ヒノキ土台角は12月より少々下落気味（九州）。

## 29年11月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

## イ. 外材

## (1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目   |          | 29/11月  | 12月 | 30/1月 |
|------|----------|---------|-----|-------|
| 仕入動向 | 米マツ丸太    | △ 100.0 | 0.0 | 0.0   |
|      | NZラジアータ  | 0.0     | 0.0 | 0.0   |
|      | 北洋エゾマツ丸太 | —       | —   | —     |
|      | 北洋アカマツ丸太 | —       | —   | —     |
|      | 北洋アカマツ原板 | —       | —   | —     |
| 消費動向 | 米マツ丸太    | △ 100.0 | 0.0 | 0.0   |
|      | NZラジアータ  | 0.0     | 0.0 | 0.0   |
|      | 北洋エゾマツ丸太 | —       | —   | —     |
|      | 北洋アカマツ丸太 | —       | —   | —     |
|      | 北洋アカマツ原板 | —       | —   | —     |
| 在庫動向 | 米マツ丸太    | 0.0     | 0.0 | 0.0   |
|      | NZラジアータ  | 0.0     | 0.0 | 0.0   |
|      | 北洋エゾマツ丸太 | —       | —   | —     |
|      | 北洋アカマツ丸太 | —       | —   | —     |
|      | 北洋アカマツ原板 | —       | —   | —     |

- ・米マツ丸太の仕入動向は11月の減少から12月、1月は横ばいに。NZラジアータは3か月連続横ばい推移。
- ・米マツ丸太の消費動向は11月の減少から12月、1月は横ばいに。NZラジアータは3か月連続横ばい推移。
- ・在庫動向は米マツ、NZラジアータとも3か月横ばい推移。

## (2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

| 品目        | 29/11月 | 12月   | 30/1月 |
|-----------|--------|-------|-------|
| 米マツ丸太     | 100.0  | 100.0 | 100.0 |
| NZラジアータ丸太 | 50.0   | 50.0  | 50.0  |
| 北洋エゾマツ丸太  | —      | —     | —     |
| 北洋アカマツ丸太  | —      | —     | —     |
| 北洋アカマツ原板  | —      | —     | —     |

- ・米マツ丸太の購入価格動向は、現地での需給が締まった状態が続く見通しから強含み。
- ・NZラジアータは原木、FRTコスト上昇から

## モニターからのコメント

## (原木荷動)

- ・米マツ丸太は、現地状況好転せずやむおえず輸入量を削減した。
- ・NZラジアータは入荷、消費、在庫とも変わらず。

## (原木価格動向)

- ・米マツ丸太の現地状況は需給が締まった状態が続く見通し。原木の引き合い強く出材は増えない。
- ・NZラジアータは原木、FRTコスト上昇。

29年11月分

## 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

## (3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目         | 29/11月  | 12月    | 30/1月   |
|------------|---------|--------|---------|
| 生産動向       |         |        |         |
| 米マツ製材品     | △ 100.0 | 0.0    | 0.0     |
| NZラジアータ製材品 | 50.0    | 50.0   | 0.0     |
| 北洋エゾマツ製材品  | —       | —      | —       |
| 北洋アカマツ製材品  | —       | —      | —       |
| 出荷動向       |         |        |         |
| 米マツ製材品     | △ 50.0  | △ 50.0 | △ 100.0 |
| NZラジアータ製材品 | 50.0    | 50.0   | 0.0     |
| 北洋エゾマツ製材品  | —       | —      | —       |
| 北洋アカマツ製材品  | —       | —      | —       |
| 在庫動向       |         |        |         |
| 米マツ製材品     | △ 100.0 | △ 50.0 | 0.0     |
| NZラジアータ製材品 | 0.0     | 0.0    | 0.0     |
| 北洋エゾマツ製材品  | —       | —      | —       |
| 北洋アカマツ製材品  | —       | —      | —       |

・米マツ製材品の生産動向は11月の減少から12月、1月は横ばいに。NZラジアータは製材品は11月、12月の増加から1月は横ばいに。

・米マツ製材品の出荷動向は3か月連続減少。NZラジアータは11月、12月の増加から1月は横ばいに。

・米マツ製材品の在庫動向は11月、12月の減少から1月は横ばいに。NZラジアータは3か月連続横ばい推移。

## (4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

| 品目        | 29/11月 | 12月 | 30/1月 |
|-----------|--------|-----|-------|
| 米マツ平角     | 100.0  | 0.0 | 0.0   |
| 米マツ正角     | 100.0  | 0.0 | 0.0   |
| 米マツ小割     | 100.0  | 0.0 | 0.0   |
| 北洋エゾマツタルキ | —      | —   | —     |
| 北洋アカマツタルキ | —      | —   | —     |
| NZ梱包材(割板) | 0.0    | 0.0 | 50.0  |
| NZ梱包材(割角) | 0.0    | 0.0 | 50.0  |
| NZ土木用材    | 0.0    | 0.0 | 50.0  |
| その他       | —      | —   | —     |

・米マツ製材品の出荷価格動向は平角、正角、小割とも強含み。

・NZラジアータは梱包材(割板、割角)、土木用材とも来年1月からの値上げを予定しており強含み。

## モニターからのコメント

(製材品の荷動き)

・NZ製材品は多少受注が増えている。

(製材品出荷価格動向)

・米マツ丸太の先高状況に製品価格が追い付いていない状況だが、RWの上昇スピード遅く、米マツの先行調整は困難な状況。

・NZラジアータ1月より値上げ予定。